

# REINFORCE

2023-26年 中期経営計画

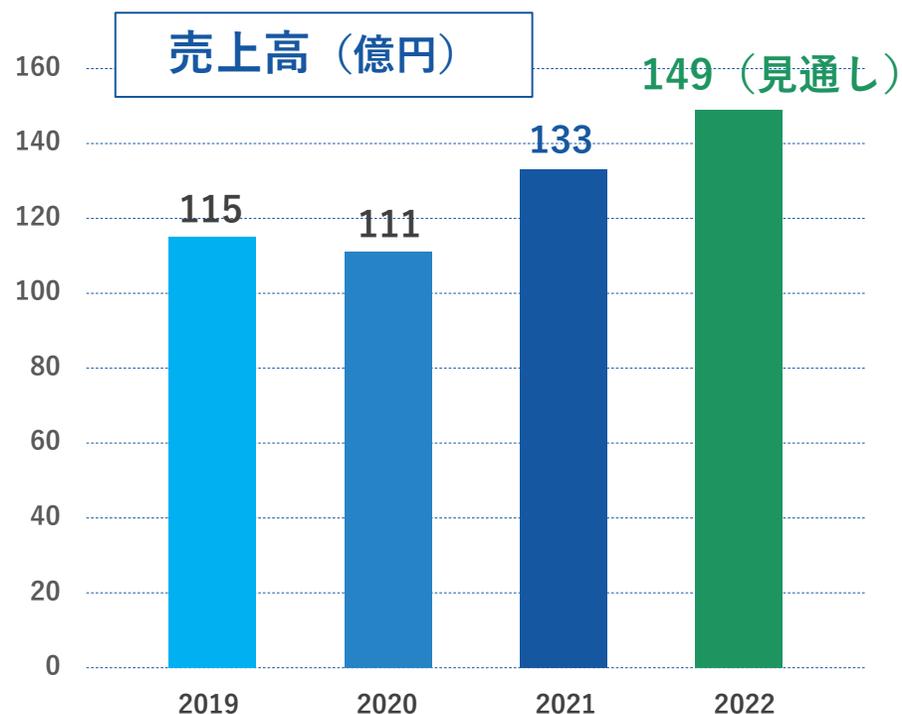


八イモ株式会社



ハイモは、「環境変化を俯瞰する水溶性高分子メーカーその先へ」を、2033年のビジョンとし、それに向け、第11次中計 最終年の2026年のビジョンは、「強い財務体質を利用した基盤強化と新規事業獲得」としました。

## 意識・風土改革を突破口とした、成長体質への転換



財務目標  
達成

- 事業譲受による拡大
- 既存製品・市場での維持

成果

- 新人事制度
- ボトムアップ会議

成長体質への  
転換

課題

- サプライチェーン
- 新規事業・新規市場

第10次中計では「意識・風土改革を突破口とした、成長体質への転換」をスローガンに掲げ、各年度売上はグラフのように推移しました。新型コロナや世界情勢の影響で厳しい環境下ではあったものの、事業譲受や既存製品、既存市場における堅調な販売により財務目標を達成できました。新人事制度開始、ボトムアップ会議開催など、管理面・意識面で「成長体質への転換」の土台が構築できました。ただし、サプライチェーン課題は依然続く見通しであり、また新規事業や新規市場への展開は今後も注力していく課題であります。



環境分析としてPEST分析を行いました。

環境規制強化・環境保全・温暖化対策等 環境に関するもの、燃料費/電気代上昇・省エネ・脱炭素等 エネルギーに関するものが多く上がっています。

基本的に環境やエネルギーへの配慮と製造活動は相反しており、両立しようとした場合、製造効率化やカーボンニュートラルの実現が必要です。

ハイモの主要事業は、環境負荷低減・エネルギー削減に貢献するものであり、直接的に環境保全・省エネ化に役立つ製品の製造販売を行っています。

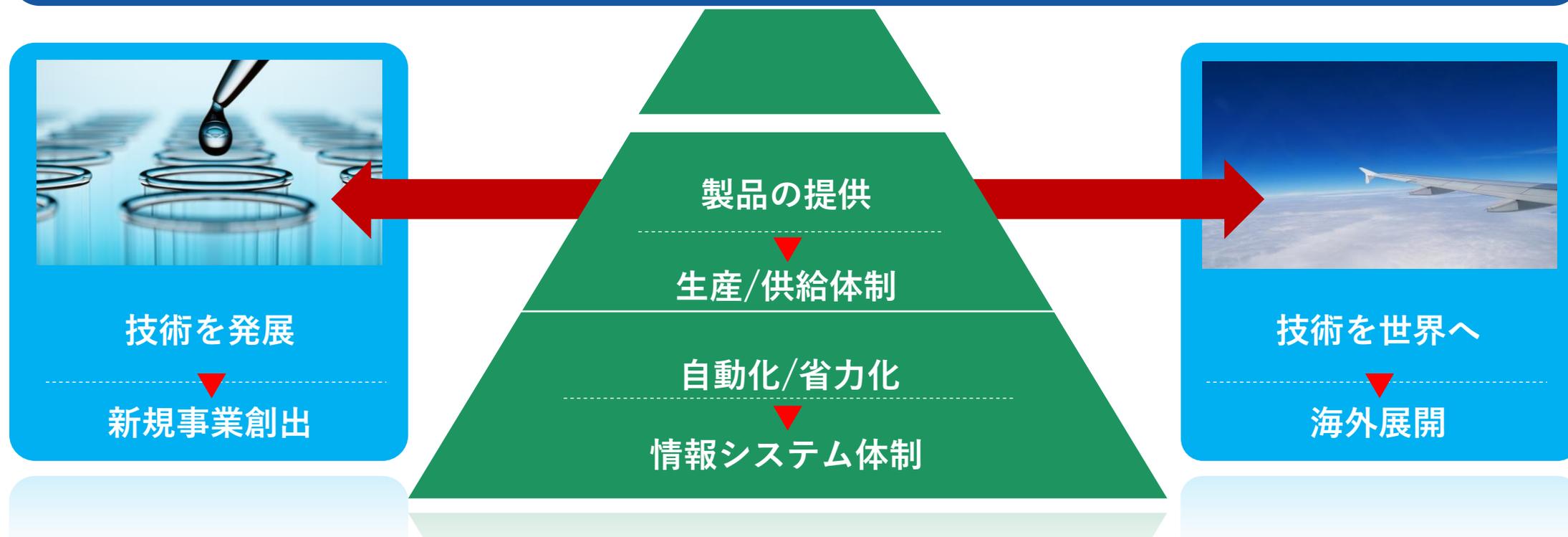
環境負荷低減・エネルギー削減に貢献



事業存続・発展こそが社会貢献になる！

ハイモの主要事業を継続/展開することが、世の中の環境保全・省エネ化につながり、ハイモの事業存続・発展こそが社会貢献となる！との考えに至りました。そのために、既存製品の安定供給により既存事業の安定化を図り、またハイモのコア技術を新規分野・新規市場へ展開し、さらなる発展を目指します。

## 社会貢献に繋がる基礎固めと新規展開

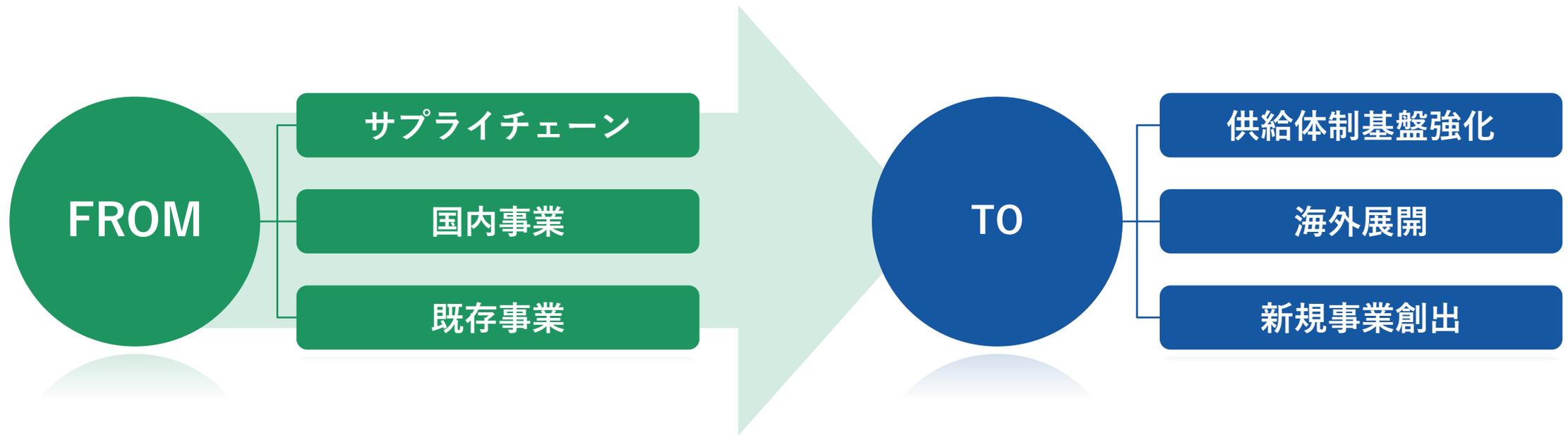


PEST分析より第11次中計では、土台固めとして 既存製品の安定的提供のため生産/供給体制整備、さらにそれを支えるために電子化による自動化/省エネ化に向けた 情報システム体制整備を進めます。新規展開として、ハイモのコア技術を他分野・新市場へ適用/展開させ、新規市場創出・海外展開を図っていきます。

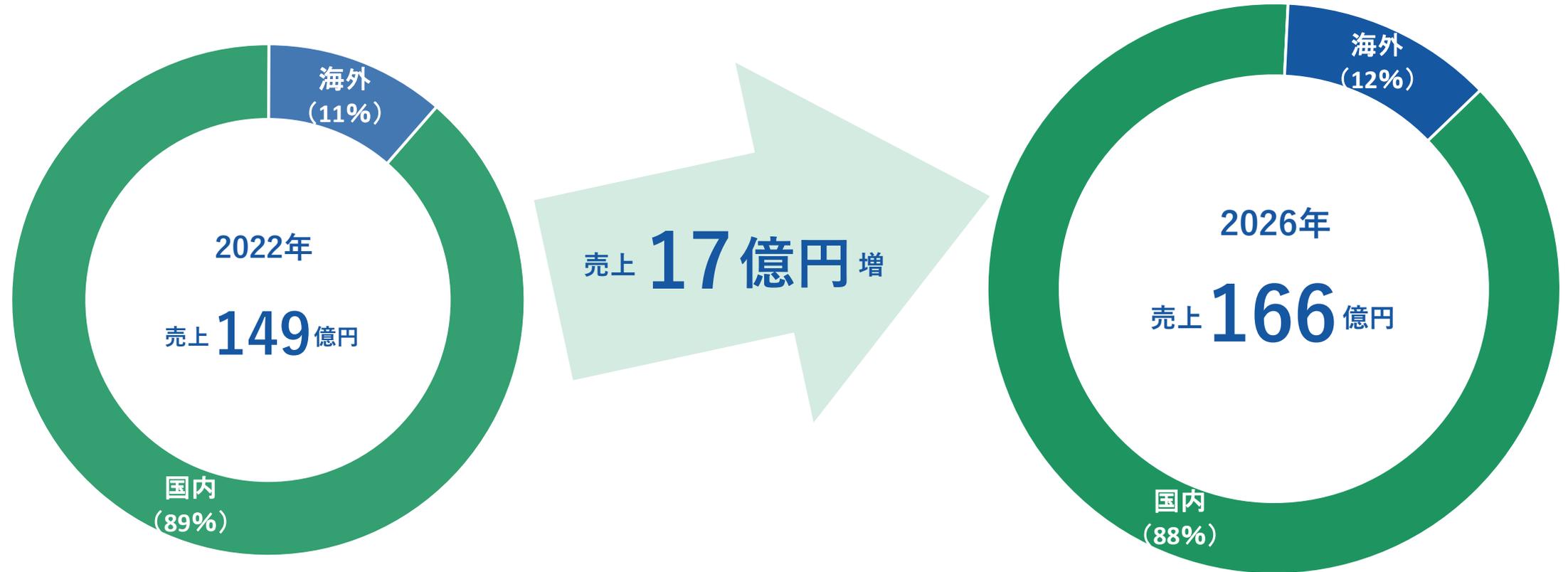


今後の方向性としては、第10次中計から引き続き「体質の転換」を軸に、新規市場創出・海外展開を図るため「発想の転換」「現状の打破」を、また、土台を支えるために、「体制基盤の強化」「有形・無形資産への投資」を、5つの項目に掲げます。

## 2026年ビジョン 基盤強化と新規事業獲得



第11次中計 最終年；2026年ビジョン「強い財務体質を利用した基盤強化と新規事業獲得」と現状とのギャップから、サプライチェーン課題から供給体制基盤の強化へ、国内事業主体から海外にも展開へ、既存事業主体から新規事業の創出への3つの基本戦略を設定しました。



年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
売上	153億円	156億円	160億円	166億円

第11次中計の事業数値計画は、2022年売上149億円から 17億円アップ、2026年には売上166億円を目指します。各年の売上目標は、上表の通りです。